

2020年度 事業計画

2020年度 全国自立援助ホーム協議会事業計画

全国自立援助ホーム協議会発足から27年目を迎える今年度、全国に約180ホーム(2020年4月現在)が自立を目指す若者たちと毎日の生活を送っている。これまで当協議会は、未来を担う若者の自立を支えるべく様々な困難や波を乗り越えてここまで来た。

年号も令和と新しく変わり新たな時代を生き抜いていかなければならない。当然今まで大切にしてきた自立援助ホームの信念というか芯になる部分を胸に留めておきながら、新たな変化に対し迅速に対応していく力もつけていかなければならない。

子どもの貧困問題や働き方改革など様々な問題が山積しているこの時代の中で、今一度、自立援助ホームの今ある姿を知り、我々のあり方を構築していかなければならない。

我々は青少年の支援の担い手として、青少年が自由に選択することができる地域社会の中にある1つの支援の場として、そこに自立援助ホームが在り続けていくために、日々ホームで支援しているあなた一人ひとりの力を借り、それらを集結していきたい。

以下に今年度の事業の柱として4項目をあげる。

1. 自立援助ホームの正確な現状把握を行い、在るべき姿について引き続き検討を重ねる。
2. 全国組織としての協議会機能の明瞭化と最適化へ向けて動き出す。
3. 自立援助ホームに携わる人のための人材育成や精神保健、運営や援助支援スキルにつながる研修会の実施
4. 制度政策について引き続き国や自治体への提言と要望を行なっていく。

2020年度 事務局事業計画

事務局長 松本耕造 (長谷場新宿寮)

事務局 恒松大輔 (あすなる荘)

1. 事務局活動内容

- 会員関係
 - ・入会退会関係 (入会申し込み書の送付・電話での対応)
 - ・メールリストの管理
 - ・会員ホームの相談対応
 - ・三井住友海上保険の受付
 - ・各種書類 (通知文・ハンドブック・パンフレットなど) の発送
- 会計関係
 - ・協議会の会費徴収
 - ・運営役員会の交通費の支払い
 - ・各種振り込み
 - ・会計ソフトの管理
 - ・決算書・予算書の作成
- 研修関係
 - ・参加申し込み受付
 - ・後援依頼・講師依頼等準備
 - ・レジュメの作成
- 助成金関係
 - ・子ども未来財団 (元プロミス基金) の賃貸借契約更新時補助金の受付
 - ・社会人一年生スタート応援事業の受付
 - ・各種助成金の申請及び対応
- 対外関係
 - ・各種後援依頼対応
 - ・厚生労働省対応
- その他
 - ・運営役員会・総会の議事録
 - ・運営役員会の準備
 - ・協議会法人化に向けての準備

※事務局長の下、専属の事務局員を一名配置し、上記活動の事務的な補助を行う

2. 運営役員会の開催予定

第1回 2020年 4月 日 時間場所未定

第2回	6月	日	ホーム長研修会、予算要望について 時間・場所未定
第3回	8月	日	全国大会について 他 時間・場所未定
第4回	10月19日		11:00～12:00 (ホテルグランビア岡山) 全国大会の最終確認
第5回	12月	日	時間・場所未定 全国大会総括 他
第6回	2021年 1月	日	時間・場所未定 次年度ホーム長研修会について・総会について 次年度全国大会について 他
第7回	3月	日	時間・場所未定 次年度ホーム長研修会について・総会について 各員会の事業報告(案)の確認・事業計画(案)・ 予算(案)についての確認

※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取る

※新型コロナウイルスの情勢を踏まえて適宜ネット会議を活用する

3. 事業計画

- ・2020年 4月21日 総会(大阪市立社会福祉センター)
新型コロナウイルスの書面議決の影響をふまえ、総会は中止し、書面決議に変更
- ・2020年10月19日～20日 岡山大会(ホテルグランビア岡山)

2020年度 制度政策委員会 事業計画

委員長 前川礼彦(湘南つばさの家)

副委員長 川口充紀(わだちの家)

委員 小倉淳(みんなのいえ)、渡辺剛史(トリノス)、関茂樹(NEXT)

活動要旨

昨年度の活動効果と反省を活かし、他団体との懇談、自立援助ホームのPR、ソーシャルアクション、制度政策勉強会等を実施予定。制度政策の実現に向けた実務活動(委員会内活動)を行い、他委員会との有機的な連携を図りながら進める。またあり方検討委員会の進行も継続し中長期的な自立援助ホームの将来像を探る。

①厚生労働省への陳情、意見交換会

予算要望の実現に向けた複数回の意見交換の場を調整。また2022年度に向けた予算要望書を作成。

②政党、他団体へのソーシャルアクション

政党の団体ヒアリングを受けつつ、他団体の協議会との意見交換の機会を検討。当協議会が他団体への周知に繋がる機会を模索する。

③他委員会との合同委員会

制度政策の実現は自立援助ホームの社会的なニーズや会員ホームの実態に即したものである必要がある。各委員会との連携を視野に可能な限りの合同委員会開催を実現。

④実務活動(委員会内活動)

制度政策の実現において、委員会での実務活動で働きかけられる内容は具体的に進めていきたい。具体的には、奨学金の対象施設拡大や他の第二種社会福祉事業との制度の比較、制度政策学習会の企画等検討。

⑤あり方検討委員会

昨年度発足した「自立援助ホームのあり方検討委員会」の進行を担う。検討委員会自体は協議会役員で担い、制度政策委員会が下部組織の委員会として事務局と連携しつつ、補助をしていく。

⑥その他

その他、必要に応じた活動。

2020年度 研修委員会事業計画

研修委員会の構成

委員長：大野朋美(つばさ)

副委員長：矢吹富子(南風)

委員：平井千晶(慈泉寮)、羽田浩之(ベアーズホーム)、本間稚啓(人力車君津)

活動の要旨

昨年度策定された各自治体の社会的養護推進計画を受け、それぞれの自立援助ホームが課題の明確化、取り組みの具現化を進める年となった。様々な視点で日々の支援の向上・運営のヒントとなる研修を検討・開催し、今現在、そしてこれから自立援助ホームを必要とする一人ひとりの入居者への充実した支援に繋げたい。

事業の内容

※研修時期については、新型コロナウイルス等の社会情勢に応じて、延期・中止をする場合もある

▶ホーム長研修会

日時 2020年4月20日

場所 大阪市立社会福祉センター

内容 行政説明 厚生労働省

研修 処遇改善加算要件研修

※新型コロナウイルスの情勢にて延期（日程は未定）

▶女性スタッフ研修会

日時 2019年7月7日～8日

場所 山形県内

テーマ 食育について

▶第27回全国自立援助ホーム協議会 岡山大会

日時 2020年10月19日～20日

場所 ホテルグランピア岡山

内容 行政説明 厚生労働省

基調講演 記念講演 未定

▶スタッフ研修会

日時 2021年2月上旬

場所 内容 未定

2020年度 調査研究委員会事業計画

委員長：屋代通子（シーズ南平岸：札幌・北海道ブロック）

副委員長：内藤直人（鳥取フレンド：鳥取・中国）

委員：橋本由佳（坂梨ホーム：千葉・南関東）

合木啓雄（丸亀おひさま荘：香川・四国）

柴田 亮（結ホーム：福岡市・九州）

活動の要旨

2020年度は、前年度から続く社会的養護のあり方研究会との合同調査に取り組む。

また、調査研究委員会の活動が、結果として制度政策の要望や研修の基礎となる資料の整備に繋がるようなあり方の模索を継続し、他の委員会との合同委員会も行いたい。

ホーム人数調査と実態調査

各ブロックの協力を得て、年明けにホーム人数およびホーム運営の実態を調査する。
その結果は会員ホームにフィードバックすると共に、予算要望の際の参考資料とする。

その他

協議会や会員ホームの要望など、必要に応じて調査を企画する。
前回の悉皆調査から5年経過しているため、全ホームの協力を仰ぎ、利用者調査を行う。

2020年度 広報委員会事業計画

委員長 大橋達也（吾が家）
副委員長 江尻飛鳥（あい）
広報委員 野原知子（マルコの家）・松木良介（憩いの家）

① 広報委員会の定期開催

協議会の情報共有とスピーディーな情報発信を円滑に進めるため、二ヶ月に一回程度、広報委員会の定期的な開催をする。

② 『協議会たより』

全国自立援助ホーム協議会の広報誌として、『協議会たより』を例年通り、年二回発行。一回目は、全国大会（岡山）前の10月に発行予定。二回目は、年度末の三月に発行予定。内容としては、全国の先駆的な取り組みをしているホームの紹介、全国の各ブロックの実践と取り組みの紹介、新規ホームやホーム長の紹介、制度の仕組みや情報発信など会員の要望の高い内容を掲載していく。

③ 人材の確保に向けた情報発信

人材確保に向けた情報発信を推進するために今年度は、自立援助ホームの仕事をわかりやすく紹介するためのカラー刷りパンフレット『自立援助ホームのお仕事』の具体的作成作業を継続。また、自立援助ホームの情報の提供を円滑に行うためにホームページのリニューアルも検討していく。

④ ホーム、ブロック訪問企画

広報委員会では、全国にある魅力的なホームや先駆的な支援を訪問し紹介。先駆的に活動を行っているブロックに訪問してその活動を広報していく。